発 監 第 9 号
平成26年7月23日

北 栄 町 長	松 本 昭 夫	様
北 栄 町 議 会 議 長	井 上 信 一 郎	様
北 栄 町 教 育 委 員 会 委 員 長	福 光 純 一	様
北 栄 町 農 業 委 員 会 会 長	濱 坂 良 男	様

北栄町代表監査委員 音 田 勝 正

北 栄 町 監 査 委 員 津 川 俊 仁

平成26年度第1回定期監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定により実施した定期監査の結果を、同条第9項の規定により報告します。

記

1 監査期間 平成26年5月20日（火）、21日（水）

2 監査対象 全 課

3 監査概要

(1) 平成25年度補助金状況について

各課から、状況調書、実績報告書（控）及び歳出予算執行状況明細表を提出させ、担当課長等から聴取。

(2) 財務事務監査（収入事務）について

担当課長から庁外現金出納事務取扱状況を聴取。

4 監査意見

(1) 補助事業について

補助事業は公益上必要と認められる事業、活動等に対して行われるものであり、補助の対象となる事業、活動を明確にすることが必要である。

1) 検討を要する補助事業

ア 菜の花プロジェクト実施補助金

補助金交付要領では「資源循環型社会の構築及び遊休農地解消を図るため、遊休農地等で菜の花の栽培を行い、種子を収穫したものに予算の範囲内において補助金を交付する」と定められている。

平成21年度から平成25年度の状況では補助金交付対象者41人の内12人は播種のみで種子の収穫は生育不良等の原因のため行われていない。また、補助金の金額は10a当たり2万円であり、採算を度外視した状況で行われている感が強い。

現在北栄町は農業振興に力を注いで各種施策を展開しているところであり、住民生活課単独での運営ではなく、産業振興課等と連携で進めてはどうか。

また、「循環型社会の構築と遊休農地解消」について、その成果が出ているのかは疑問である。

イ 自立活性化活動支援事業交付金

従来から自治会単独で実施されている運動会、納涼祭、文化・芸術発表会等は、地区住民との交流・親睦を図りながら、自治会をもっと元気に、住みやすくするために自助財源または寄付を募り運営されているが、そのほとんどは「自立活性化活動支援交付金」の対象となっていないのが現状である。

交付金の審査にあたっては、事業規模や町内外に与える波及効果等も審査し、慎重に検討を行う必要がある。

ウ 北条砂丘祭り補助金

補助金を交付して運営されている団体については、行事等の終了又は年度末で剰余金は町に返納されていることから、公金の取り扱いを透明にするため統一すべきであると考えている。

ましてや、剰余金（繰越金）があるからといって、次年度の予算を減額調整されているようでは予算編成に疑問を生じかねない。

2) 日本スポーツ振興センター保険

契約者は町、被保険者は園児・児童・生徒、保険金受取人は保護者であり、保険料の半額が負担されている。しかし、保険の加入については保護者の判断に委ねられており任意加入で未加入者があるのが現状である。保育所・学校等では毎年各種行事が開催されており、不慮の事故に備えて保険加入の推進が行われている。

教育環境の整備の一つに安心して平等に教育を受けられる環境づくりも重要であると考えており、保険加入は全員強制加入とし、保険料も全額町の予算で賄える方法がないか検討をすべきである。

なお、現在は保険取扱事務に対しての取扱手数料の支給もないことから、加入手続きの簡素化、集金業務の軽減にもつながる効果もある。

(2) 庁外現金収納事務の取り扱いについて

公金外の現金についても、受け取り時の領収書様式の点検と金融機関への入金安全対策を行うこと。